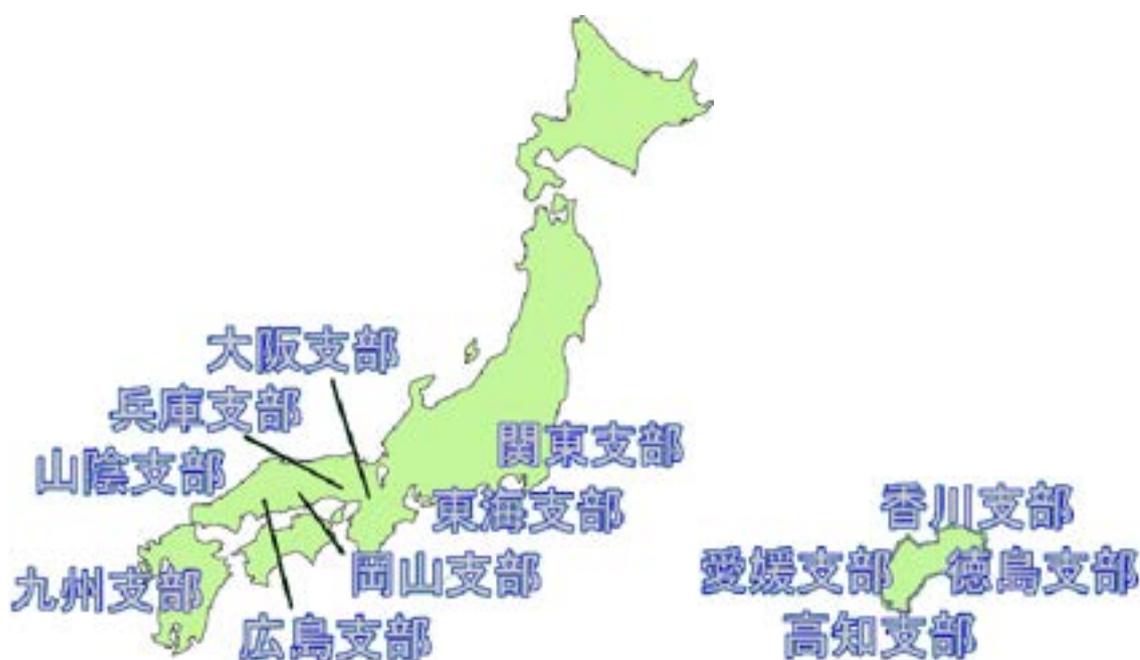


2024（令和6）年度 徳島大学美土利会 総会資料

徳島大学美土利会

母校と支部の近況集



令和6年6月1日（土）

目 次

母校の近況

徳島大学工学部理工学科社会基盤デザインコース	3
---------------------------------	---

支部の近況（北から）

関東支部	6
東海支部	9
大阪支部	10
兵庫支部	11
山陰支部	13
岡山支部	15
広島支部	16
香川支部	18
徳島支部	19
愛媛支部	22
高知支部	24
九州支部	25

母校の近況

徳島大学理工学部理工学科社会基盤デザインコース コース長 上田 隆雄

1. はじめに

今年は元旦に能登半島地震が発生し、日本全体が重苦しい雰囲気での年明けとなりました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。一方で、昨年5月に新型コロナも季節性インフルエンザと同じ5類感染症の扱いに移行し、国内の様々な社会活動や経済活動は、コロナ前の活気を取り戻しつつあります。このような社会的変化の大きい状況ですが、徳島大学美土利会会員の皆様は、お変わりなくお過ごしでしょうか。大学におきましては、昨年度から原則として対面授業を再開しており、新年度が始まる4月のキャンパスは多くの学生であふれかえる、コロナ前のいつもの風景になっています。ただし、学生一人一人を見ると、そのような社会の急速な変化に戸惑ったり、うまく適応できていない場合も見られるような気がして、大学としてはきめ細かなサポートが必要と感じています。

美土利会会員の皆様には、平素より教育支援・就職・インターンシップ・現場見学等々を通じて、社会基盤デザインコースにおける教育・研究・運営に多大なるご協力・ご支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。加えて、令和元年度より募っておりますコースの財政的窮状を支援いただくご寄付（サポーターカンパニー制度）につきまして、昨年度も県内・県外合わせて29社もの企業様よりご厚志のお申し出をいただき、引き続き充実したカリキュラムを学生に提供することが可能となりました。重ねて厚く御礼申し上げます。

平成28年度に徳島大学工学部は徳島大学理工学部にも再編され、建設工学科は理工学部社会基盤デザインコースとなりましたが、本年3月には五期生77名（昼間コース65名、夜間主コース12名）が無事卒業しました。一方、大学院は創成科学研究科理工学専攻社会基盤デザインコース博士前期課程には31名、博士後期課程には8名の学生を受け入れることができました。令和4年度より新組織としてスタートした博士後期課程には、社会人も歓迎していますので、会員の皆様には是非ご検討いただければ幸いです。

一方、今年度の学部入試では、社会基盤デザインコースの昼間コース定員79名に対して77名、夜間主コース定員10名に対して10名の入学者となりました。理工学部再編から2年進級時に正式配属が決まる一括入試方式を続けてきましたが、令和4年度入学生からは、入学時に社会基盤デザインコースに正式に配属されるコース別入試方式に変更されています。つまり、建設工学科時代と同じように、社会基盤デザインコースとして定員確保を目指す必要があります。今年度入学生の入試状況を振り返ると、近年の全国的な傾向として地方国立大学の志願者倍率低下傾向が続いており、徳島大学理工学部全体でも苦戦しています。本コースは他コースに比べて安定した人気を保っていると言えますが、少子高齢化時代に突入する今後もしっかりと定員を確保できるよう、コースのWebページを刷新するなど工夫を凝らしているところです。これまで美土利会が築き上げてきたよき伝統を引き継いでいける卒業生を輩出していくため、コースとしてさらなる

努力が必要ですが、会員の皆様のご支援をいただければ幸いです。

2024(令和6)年度は、コース長：上田隆雄、副コース長：小川宏樹教授、また就職指導：2024(令和6)年度卒業・修了者は奥嶋政嗣教授、2025(令和7)年度卒業・修了者は小川宏樹教授がそれぞれ担当いたします。どうぞ、よろしく願いいたします。

2. 人の動き

令和5年度は、ご退職や新任の教職員はおられませんでした。

3. 就職・進路状況

令和5年度の就職状況を一覧表としました。令和4年度と比較すると、学部卒業生の公務員就職者数が30%程度と増加し、修了生は建築関係就職者数が14%とやや減少し、その代わりに建設会社就職者数が36%と増加しています。建設関係はいずれの業態も人員確保が重要な課題となっており、総じて本コース卒業・修了生の就職需要は高い状況を維持しています。

以上、従来とほぼ同様の就職状況が得られましたのは、ひとえに諸先輩方のご支援の賜物であり、記して謝意を表します。

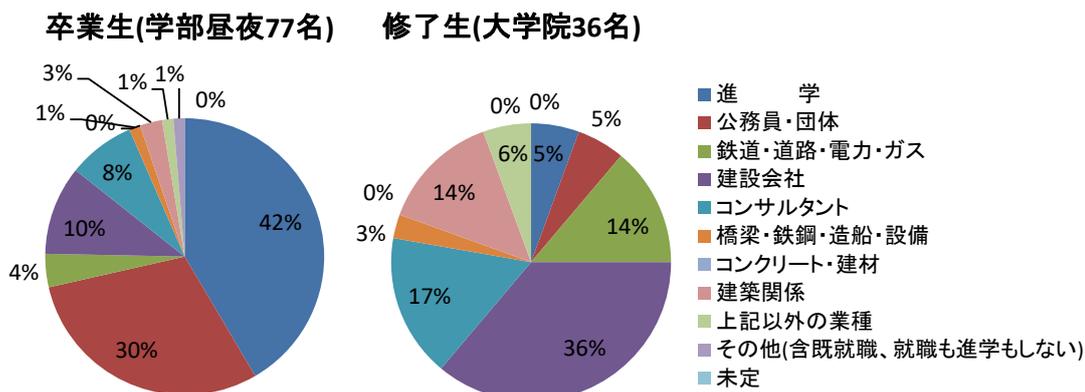
なお、令和6年度卒業・修了予定者の就職活動は現在進行中ですが、何卒諸先輩方の倍旧のご支援をお願い申し上げます。

令和5年度 卒業・修了生の進路先一覧

進路希望先	学部(社会基盤デザインコース)						大学院(博士前期課程)		合計(名)	
	昼間コース		夜間主コース		合計		人数	女性数(内数)	人数	女性数(内数)
	人数	女性数(内数)	人数	女性数(内数)	人数	女性数(内数)				
進学	30	3	2	1	32	4	2	1	34	5
公務員・団体	17	4	6	0	23	4	2	1	25	5
鉄道・道路・電力・ガス	3	1	0	0	3	1	5	0	8	1
建設会社	6	2	2	1	8	3	13	4	21	7
コンサルタント	5	1	1	0	6	1	6	2	12	3
橋梁・鉄鋼・造船・設備	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0
コンクリート・建材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建築関係	2	1	0	0	2	1	5	1	7	2
上記以外の業種	0	0	1	0	1	0	2	0	3	0
その他(含既就職、就職も進学もしない)	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
未定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(名)	65	13	12	2	77	15	36	9	113	24

☆令和5年度(2023年9月・2024年3月卒業修了生対象)

就職先業種別割合



4. おわりに

教職員一同、建設系分野を一層充実するよう努力して参りますので、卒業生の皆様には、今後とも変わらず継続的なご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、美土利会会員の皆様のご活躍とご発展を願って、近況報告の結びといたします。

コース研究室と教員	構造工学研究室	地震工学研究室	
	 <p>中野 成智 ●准教授 耐震工学 00京都大学 工学部 土木工学科</p>  <p>山山 仁志 ●講師 鋼構造学 14大阪府立大学 工学部 都市工学科</p>	 <p>高橋 健孝 ●助教 地震学 09金沢大学 工学部 地質学</p>  <p>白山 敏子 ●講師 建築構造 00岡山県立大学 建築・都市 システム工学科</p>	
	コンクリート工学研究室	地盤工学研究室	
	 <p>橋本 健典 ●教授 コンクリート工学 02九州工業大学 工学部 防災土木工学科</p>  <p>津道 健 ●准教授 岸壁・ 特殊管理工学 00岡山大学 工学部 土木環境工学科</p>	 <p>上野 勝利 ●准教授 基礎工学 02上海交通大学 土木工学科</p>  <p>亀継 一輝 ●講師 地盤工学 10岡山県立大学</p>	
	建築計画研究室	風工学研究室	維持再生工学研究室
	 <p>小川 聖輝 ●教授 建築計画学 00立教大学 工学部 建築学科</p>  <p>井川 純子 ●講師 地域計画学 00岡山大学 理学部 地学科</p>	 <p>野田 悠 ●教授 風工学 01徳島大学 工学部 建築工学科</p>	 <p>上田 雅雄 ●教授 エンジニアリング 00京都大学 工学部 土木工学科</p>
	地域防災研究室	生態系管理工学研究室	
	 <p>藤 重彰 ●教授 防災工学 00岡山大学 工学部 防災学</p>  <p>津道 泰典 ●講師 生態系工学 01中央大学</p>	 <p>藤田 哲人 ●教授 生態系管理工学 04広島大学 総合科学部 総合学</p>  <p>河口 洋一 ●准教授 環境工学 00岡山大学 農学部 林学</p>	
	河川・水文研究室	都市デザイン研究室	
	 <p>武藤 祐則 ●教授 河川工学 00京都大学 工学部 交通土木工学科</p>  <p>山田 雅雄 ●准教授 水文学 00岡山大学 工学部 建築工学科</p>	 <p>高橋 謙 ●准教授 建築マネジメント 04日本経済大学 工学部 土木工学科</p>  <p>山田 雅也 ●講師 地域計画 14京都府立大学 創造理工学部 建築学科</p>	
環境衛生工学研究室			
 <p>上月 康則 ●教授 環境衛生工学 00徳島大学 工学部 建築工学科</p>  <p>山中 英一 ●准教授 環境小理学 07大阪府立大学 工学部 環境システム工学</p>  <p>金村 康郎 ●助教 防災計画 環境教育 11徳島大学 工学部 建築工学科</p>			
都市・地域計画研究室			
 <p>高橋 敏嗣 ●教授 都市計画・交通計画 00京都大学 工学部 交通土木工学科</p>  <p>高橋 公次郎 ●准教授 都市計画 00豊橋技術科学大学 工学部 建築工学科</p>  <p>高橋 智 ●准教授 交通工学 11愛媛大学 工学部 環境建築工学科</p>			
コース事務			
 <p>石丸 啓輔</p>  <p>河村 謙</p>  <p>永戸 崇博</p>  <p>高 貴志</p>  <p>小池 幸代</p>  <p>有藤 智子</p>  <p>武市 加代子</p>			

関東支部

支部長 加藤 憲一（昭和57年卒）

1. はじめに

本部関係者各位、大学関係者各位におかれましては平素より関東支部活動へご協力いただき、感謝申し上げます。今年度もよろしく願い申し上げます。

美土利会関東支部の登録会員数は903名（令和6年4月時点）、対象地域は関東・東北・北陸・北海道及び海外です。コロナ禍での支部活動はオンライン会議システム（Zoom）利用で対応していましたが、昨年度より支部総会、新人歓迎セミナー、見学会、親睦ゴルフ、忘年会、幹事会を対面開催に戻しました。支部総会、幹事会は遠方からの参加者に配慮し、オンライン併用開催です。また毎月第一水曜日のオープンコミュニティは出張先、通勤途中でも参加できるようオンライン開催としています。近年、当支部の会員数が伸びているのはうれしいことですが、支部行事の参加者、特に若手会員の参加者を増やしていく点が課題と考えています。

以下に、前年度の支部活動の様様と今年度の予定をご紹介します。

2. 支部活動

(1) 支部総会懇親会（写真-1）

令和5年度総会は、5月19日（金）にNEC芝倶楽部での対面・オンラインの併用開催とし、来賓に河口洋一先生をお迎えしました。4年ぶりのリアル開催でしたが、対面40名（うち来賓1名、新会員1名）、オンライン3名の参加がありました。懇親会は感染症予防のため着席形式としました。開催後日、集合写真内に一人ひとり名前を記載してメール配信し、顔と名前を覚えてもらって、今後の支部活動の参加を促す試みをしています。効果はこれから出てくると信じます。

令和6年度は5月15日（水）に対面・オンライン併用開催を予定しています。



写真-1 支部総会懇親会



写真-2 オープンコミュニティ

(2) オープンコミュニティ（写真-2）

毎月第一水曜日を原則に19時から1時間程度で実施しています。オンラインで、場所を選ばず遠隔地から、帰宅途中の参加もあり、近況報告や美土利会の企画などについて語らい、友好を深めています。毎回10名程度の参加があります。

(3) 新人歓迎セミナー懇親会（写真-3）

配属先でも落ち着いた8月頃に新卒業・修了生を招待し、先輩会員に講話いただき、議論し合う研鑽企画です。



写真-3 新人歓迎セミナー懇親会

令和5年度は14名（うち、新人1名）の参加があり、海上工事について、みらいの水中工事について、の2題のプレゼンテーションがあり、ビールを飲みながら参加者で熱く語り合いました。今後も、新社会人を招き参加者各社の新工法新技術などを紹介し、懇親を深める場にしていきます。

（4）土木遺産見学会（写真-4）

本研鑽企画は、建設業界の動向や最新技術を実現場に出向いて会員に提供し、会員の自己研鑽と相互交流を目的としています。コロナ禍でしばらく開催を見合わせていましたが、令和5年度も関東圏内の見学可能な工事現場は見つかりませんでした。そこで当支部北エリアで開催を検討し、北海道新幹線建設現場の協力を得て、6名の参加でしたが再開できました。見学会後には、懇親会も開催しました。



写真-4 現場見学会

（5）土木遺産見学会（写真-5）

本企画は、例年の現場見学会がコロナ禍により開催が難しい中、代替となる企画として一昨年に誕生しました。美土利会員として、現場以外にも身近な土木を見つめる機会があってもよいと考え、土木遺産、湧水地、新建造物などを巡る企画としています。参加者は多少の坂道を含む5kmほどの徒歩を強いられますが、日ごろの運動不足解消も兼ねられ、見学会後の美味しい一杯を楽しみに頑張っています。令和5年度は北海道現場見学の翌日に小樽～北広島市、および東京都秋川市の2回の見学会を開催しました。土木構造物を肴に議論できるのは、美土利会の会員ならではの楽しみです。



写真-5 秋川市土木遺産見学会

（6）親睦ゴルフ会（写真-6）

コロナ禍で実施できなかった本会ですが、一昨年秋に再開できました。令和5年度は9月に北海道現場見学会に合わせて北広島市で、また12月につくば市で開催しました。参加者の用具が届かないハプニングがありましたが、参加者で協力し合い楽しくラウンドできました。本会は毎年春と秋に開催しており、親睦のための年間行事として令和6年度も開催に向けて準備しています。



写真-6 北海道親睦ゴルフ

（7）忘年会（写真-7）

毎年12月に都内の居酒屋などでゆっくり食事をいただきながら懇親会を行っております。総会に次ぐ大きな集まりですが、令和5年度は12月6日(水)に開催しました。

(8) 幹事会（写真-8）

毎年2月に役員・幹事が集合して、次年度の役員の改選や行事予定、予算を議論します。令和5年度は2月1日(水)にNEC芝倶楽部にてオンライン併用で開催しました。

3. 支部役員（令和6年5月改選）

- 支 部 長 加藤憲一(S57)
- 副 支 部 長 大鹿恭一(S57)・浅井洋(S59)
- 事 務 局 長 西田憲司(H1)
- 副事務局長 吉田隆二(S62)
- 統 括 幹 事 研鑽担当：土井理伺(S62)
親睦担当・総務副担当：岩田航司(H6)
IT担当：柴田大介(H6)
総務担当：桜井聡美(H7)
会計担当：米田康弘(S59)



写真-7 忘年会



写真-8 幹事会

東海支部

支部長 土橋 勝（平成元年卒）

1. 会員の動向

東海支部は、愛知県 57%、静岡県 23%、三重県 12%、岐阜県 8%の4県で構成しております。

令和6年4月26日現在の会員は、173名（現住所及び勤務先の両方でカウント）となっており、業態別、卒業年次別会員数の内訳は以下のとおりとなっています。

業態別会員数

建設会社	官公庁	設計会社	メーカー	セメント	通信・運輸	その他	合計
73	30	16	4	3	6	41	173

卒業年次別会員数

卒業年次	～'70	～'80	～'90	～'00	～'10	～'20	'21～	教員	合計
会員数	9	20	36	26	37	27	17	1	173

新卒者は12名です。

2. 支部行事

R5年度

7月8日 東海支部総会(対面、Webハイブリッド)



R6年度予定

9月14日 工業会東海支部総会

昨年度の徳島大学美土利会東海支部総会は、久しぶりに対面で行うことができました。

今年については美土利会工業会東海支部総会開催年となるので、その日に美土利会会員の方々とお会いできるのを楽しみにしております。

3. 支部役員名簿

顧問	那住 利之 (32)	徳田 裕彦 (41)	稲葉 豊 (52)
	西村 正毅 (52)	石田 裕俊 (58)	
支部長	土橋 勝 (H1)		
幹事	畠山 圭司 (59)	黒川 尚義 (H11)	河野 智泰 (H12)
参与	長井 隆弘 (38)	恵美 睦雄 (40)	森本 秀俊 (42)
	榊原 孝光 (56)	山口美智雄 (57)	

大阪支部

支部長 北澤 俊彦（平成元年卒）

美土利会会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

支部活動におきましては、いつも大学の先生方および美土利会本部、徳島県関西本部の皆様には多くのご支援を賜り大変感謝いたしております。

それでは、大阪支部の活動について、ご報告いたします。

1. 支部総会と懇親会

令和5年度の支部総会並びに懇親会を令和5年11月17日(金)、大阪梅田のラグナヴェールプレミアに於いて4年ぶりに開催いたしました。

総会では、滑川先生から母校の近況等を報告していただきました。また、徳島県関西本部の原田本部長からは徳島県内の状況等についてご報告いただきました。間幹事から令和元年度～令和4年度までの支部活動報告等及び会計報告を行いました。最後に、コロナ渦もあり4年ぶりの支部役員改選におきましては、支部長交代も含めた改選が行われ、全員一致で承認されました。以上を持って、総会を終えております。なお、新役員は以下の体制となりましたのでよろしくお願いいたします。

顧問	藤田 隆一(S50)、立石 秀樹(S53)、雪本 清浩(S54)、 清水 孝広(S57)、藤山 真希(S58)
支部長	北澤 俊彦(H01)
支部長代行	永江 正広(S60)
副支部長	久米 富美男(S61)、北西 隆司(H01)、木下 義康(H04)
幹事長	間 雅則(H07)
副幹事長	今中 義人(H08)
幹事(会計)	森下 喜博(H08)
幹事(事務局)	安福 博志(H05)
幹事	福家 信弘(S63)、小川 孝二(H01)、川田 博一(H04)、山岸 稔(H04)、河原 学(H07)、 岡 竜(H11)、楠田 匡彦(H11)、藤原 勝也(H12)、井本 昌彦(H12)、森西 由記(H16)、 吉田 幸弘(H16)、田中 慎吾(H18)、土江 憲弘(H18)、真見泰弘(H20)、 日向 隆裕(H20)、中井 陽介(H21)、八田 法大(H21)、嶋田 圭悟(H28)

2. 親睦活動状況

親睦活動として、毎年、親睦ゴルフコンペを行っており、開催回数も160回を超える伝統行事になっております。今年度は、大阪支部・兵庫支部と合同で親睦ゴルフコンペを2回開催しました。

第166回 令和5年7月30日 大神戸ゴルフ倶楽部

第167回 令和5年10月2日 大神戸ゴルフ倶楽部

本年の総会開催は令和6年11月15日(金)、大阪梅田のラグナヴェールプレミアにて予定しております。日程が近づきましたらご案内申し上げますので、ご参加の程よろしくお願いいたします。開催会場で皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

最後になりますが、美土利会会員の皆様のご健康と一層のご活躍をお祈りいたしまして、大阪支部からの報告とさせていただきます。

兵庫支部

支部長 高瀬 徹（平成2年卒）

美土利会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は兵庫支部の活動にご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。

それでは、兵庫支部の近況について報告します。

1 会員の動向

令和6年3月時点の会員数は437名で、職業別、卒業年代別の内訳は、以下のとおりです。

<職業別>

職種	官公庁	建設会社	設計会社	その他	合計
会員数	155人	111人	25人	146人	437人

<卒業年代別>

卒業年	～S49	S50～S63	H1～H10	H11～H20	H21～	合計
会員数	74人	58人	82人	77人	146人	437人

2 支部行事

(1) 支部総会および懇親会

新型コロナウイルスの影響のため、令和2、3、4年度の支部総会と懇親会は、開催を見合わせていましたが、昨年5月に感染症法上の位置づけの変更があったことから、令和5年度は、4年ぶりに開催することができました。

日時：令和5年7月28日（金） 18時30分～（出席者：48名）

場所：神戸三宮東急REI ホテル3F ボールルーム

来賓：美土利会本部（徳島大学准教授） 山中 亮一様

工業会兵庫支部支部長 高橋 一様

美土利会大阪支部支部長 藤山 真希様

総会では、来賓の山中先生から「母校の近況報告」をしていただき、続く懇親会では、会食をしながら会員相互の親睦を図り、最後は新社会人会員の自己紹介及び万歳三唱で締めくくりました。

久しぶりの開催でしたが、20代、30代の若手会員にも多数参加いただき、活気ある会となりました。



（2）親睦会ゴルフ大会

会員相互の親睦活動の一つとして、毎年大阪支部様と合同で親睦ゴルフコンペを行っています。5年度は、2回開催しました。

最後に、美土利会会員の皆様のご健康と一層のご活躍をお祈りいたしまして、兵庫支部からの報告とさせていただきます。

山陰支部

支部長 桑野 浩之（昭和56年卒）

1 会員の動向

令和6年3月末現在の会員数は49名です。地区別の構成は、鳥取県25名、島根県24名で、職業別、年代別では次のとおりです。

職業別	官公庁	建設業	コンサルタント	その他	計
会員数	17名	3名	11名	18名	49名

年代別	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
会員数	2名	8名	16名	3名	7名	13名	49名

2 支部の活動

(1) 現地見学会及び支部総会

山陰支部では近年は、支部総会の日の前中に現地見学会を開催しており、島根、鳥取両県において、完成した施設や施工中の道路あるいは山陰の観光地などを見学し、会員の見聞を広める活動を行ってきました。

しかし令和2年2月の現地見学会及び支部総会以後、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、残念ながら現地見学会及び総会を中止することとなりました。

昨年度は、新型コロナウイルスが5類に移行したため、11月18日に鳥取県米子市において、令和元年12月に新たに設立しました工業会山陰支部と合同で、久しぶりに支部総会を実施いたしました。総会前においては、小川宏樹教授に「遊休不動産を活用したまちづくり」と題して講演を行っていただき、会員にとって有意義な会合とすることができました。

令和6年度以降においても支部総会は、工業会山陰支部と合同開催において実施する予定としています。

(2) 近隣支部との交流、

令和5年度は、岡山支部、広島支部において総会が実施され、会員の交流を行いました。ただ、恒例の中国地区ゴルフコンペは、令和5年度も新型コロナウイルスの影響により中止となりました。新型コロナウイルスが早期に終息し、再開することを待ち望んでいます。

3 役員メンバー

支部長 桑野浩之(建設 S56 島根)

副支部長 加藤 朗(土木 S49 鳥取)、矢野 進(建設 S50 旧姓大隅 島根)

幹事長 作野裕幸(土木 S58 島根)

幹事 足立正文(建設 S53 鳥取)、永井繁光(建設 H3 島根)、藤井 勇(建設 H7 島根)

小浴 優(建設 H14 島根)、速水真人(建設 H19 鳥取)、安達直之(建設 H30 島根)



小川教授の講演状況



令和5年度 支部総会集合写真

岡山支部

支部長 前田 秀夫（昭和50年卒）

1. 会員の動向

【年齢別】

年 齢	20代	30代	40代	50代	60以上	合計
会員数	27名	48名	34名	29名	79名	217名
割合 (%)	12%	22%	16%	14%	36%	100%

【職業別】

職 業	官公庁	建設業	コンサル	議員	自営	教員	その他
会員数	65名	61名	29名	2名	11名	1名	48名

2. 支部行事

(1) 支部総会（7月下旬）

例年、大学や広島支部・山陰支部から来賓を賜り、7月下旬に開催しています。

コロナウイルス拡大防止の観点から、Eメールにより議事審議を行っていましたが、令和5年度は4年ぶりに会合形式で開催しました(令和5年度は11月に開催)。

(2) 中国地区ゴルフコンペ（11月頃）

令和5年度は未開催です。

3. 役員名簿

役 職	氏 名 (卒業年)		
相 談 役	一 藁 寛 (昭和46)		
支 部 長	前 田 秀 夫 (昭和50)		
副支部長	馬 越 重 泰 (昭和50)	細 谷 多 慶 (昭和60)	
幹 事	浅 井 律 宏 (昭和59)	森 光 太 郎 (昭和62)	中 尾 勲 (平成03)
	高 橋 邦 治 (平成03)	高 尾 学 (平成04)	石 澤 友 亨 (平成05)
	浦 上 郁 雄 (平成06)	小 野 哲 史 (平成10)	半 田 佳 孝 (平成12)
幹事(会計)	光 畑 一 良 (昭和63)		
監 事	小 野 正 人 (昭和51)	瀬 島 和 憲 (昭和62)	

事務局 光畑 一良 (昭和63) 浦上 郁雄 (平成06) 半田 佳孝 (平成12)

広島支部

支部長 友道 康仁（昭和58年卒）

美土利会会員の皆様、母校の諸先生方並びに事務局の皆様には、ご健勝でますますご活躍のことと御慶び申し上げますとともに、日頃から当支部へのご支援に対し、心から感謝いたします。それでは、当支部の活動状況を報告いたします。

1. 支部会員の動向

【年代別】

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
会員数	18名	25名	35名	23名	15名	16名	132名

【職域別】

職域	官公庁	建設会社	コンサル	無職	その他	計
会員数	22名	27名	46名	12名	25名	132名

2. 支部行事の報告：令和5年度総会

広島支部では令和5年7月7日に対面による総会を開催いたしました。来賓として、本部から渡邊先生、岡山支部から近藤様、山陰支部から小浴様にご臨席を賜りました。さらに渡邊先生からは、教官の異動、卒業生の進路など近況報告をしていただきました。

また、令和5年12月20日に若手の会を開催し、工事中であったサッカースタジアムの見学及び懇親会を開催いたしました。

今年度も引き続き、若手の会等を開催し、多くの会員が交流できるように努めていきたいと考えております。



令和5年度 広島支部総会



若手の会 現場見学会

3. 広島この頃

広島では国内初の「まちなか」のサッカースタジアムとして「エディオンピースウイング広島」が令和6年2月から開業されました。ピースウイング広島の名には「恒久平和と、夢や希望を持って明るい未来へ羽ばたく」という願いが込められており、広島ならではのスタジアムが完成しました。また、試合開催日には多くの方が訪れており、試合時間の前後にはスタジアム周辺で買い物や飲食を楽しむ方が多く活気に溢れております。



新スタジアムの状況

広島では、広島駅南口で広島駅ビルの建替えと路面電車の新駅ビル2階への乗入れ工事が進んでおり、まだまだ賑わいが溢れる街へと成長しております。食べ物もお好み焼き、牡蠣、汁なし担々麺など多くの名物がありますので、是非広島へお越しいただければ幸いです。

4. 最後に

今年度も引き続き、会員同士の親睦を深め、技術者としての意見交換等ができるように、対面形式による総会の開催に向け、準備を整えていきたいと考えております。

また、現場見学会や若手懇親会などの行事につきましても、より良いものとなるように検討を行って参りたいと考えております。

香川支部

支部長 西村 茂（昭和58年卒）

1. 会員の動向

(1) 会員数（支部名簿登載者数）

卒業年次	～S30年	～40年	～50年	～63年	～H10年	～H20年	～R5年	計
会員数	1名	6名	37名	54名	50名	39名	24名	211名

(2) 職域別会員数（支部名簿登載者数）

※本店が県外にあるもの

職域	県内会社 関係	県外会社 関係※	コンサルタント 関係	官公庁 関係	学校、電力 その他	計
会員数	8名	35名	19名	57名	92名	211名

個人情報保護法の関係から、平成17年度支部総会時から、返信連絡の無い者は香川県支部名簿に登載しないこととしています。（平成16年度名簿登載者数 399名）

2. 支部行事

(1) 支部総会

開催日時：令和6年1月27日（土）15:00～18:00

場 所：JRホテルクレメント高松

出席人数：【会員】82名

【来賓】2名（蔣教授、金井講師）

令和6年度役員名簿

役職	氏 名 (卒業年)			
会長	西村 茂 (58)			
相談役	谷 宣 璋 (46)			
副会長	檜垣和明 (58)	小西 親 (59)	西川英吉 (60)	三宅和志 (62)
	中村敏浩 (62)	齊藤裕二 (63)		
幹 事	大山亮一 (56)	佐治康弘 (元)	飯田博司 (元)	三宅秀造 (3)
	川井拓也 (6)	越智賀浩 (6)	尾寄秀典 (7)	白鳥 実 (13)
	米澤和宏 (15)	河津孝典 (15)	中屋敷 誠司 (16)	

下線の方は新役員

(2) 工業会香川支部総会

開催日時：令和5年10月20日（金）18:30～21:00

場 所：JRホテルクレメント高松

出席人数：【会員】52名（うち、土木18名）

【来賓】5名（うち、土木1名（奥嶋教授））

（事務局）：香川県土木部

佐治 康弘 (H元) 森 親哉 (H10) 大西 一賢 (H14) 島田 辰哉 (H28)

徳島支部

支部長 納田 盛資（昭和52年卒）

支部会員の皆様、そして本部関係者各位、諸先輩各位の美土利会徳島支部活動へのご協力に感謝いたします。

昨年度は新型コロナウイルスの沈静化とともに、社会経済活動が本格的に動き出しました。徳島支部におきましても、4年ぶりとなる総会や新年会を無事開催することができ、多くの方にご参加頂き誠にありがとうございました。

これからも様々な活動を活発化させてまいりますので、今年度もよろしくお願いたします。

1. 支部会員数(R06.04現在)

支部会員数は1,583名(美土利会WEB情報)、業種内訳では地方自治体が最も多い398名(25.14%)、以下、コンサル等338名(21.35%)、施工・メーカー等189名(11.94%)の順です。

表-1 会員の業種内訳

	官公庁・議会			民間				不明 (勤 務先が 空白)	教職員・学生		合計
	政治, 行政機 関	公団, 公社, 協会	地方自 治体	電力, 通信, ガス等	施工, メーカ, 資材	コンサ ル等	その他 民間		教職員	学生 研究生	
会員数	14	18	398	10	189	338	123	352	53	88	1,583
%	0.88	1.14	25.14	0.63	11.94	21.35	7.77	22.24	3.35	5.56	100.0

2. 支部活動

(1)令和5年度支部総会【写真-1】、特別講演会【写真-2】、懇親会

- ・日時 令和5年6月3日(土)
- ・場所 徳島県建設センター
- ・支部総会(参加者数66名)、特別講演会(同93名)、本部支部合同懇親会(同126名)を開催しました。
- ・特別講演
 - ・テーマ 心と身体のアンチエイジング
 - ・講師 日本抗加齢医学会評議員 板東 浩 氏
- ・本部支部合同懇親会来賓
 - 徳島県県土整備部長 松野 秀生 氏
 - 国土交通省徳島河川国道事務所長 関 健太郎 氏

(2)若手座談会：若手会員でわいわいと楽しむ会

令和5年6月3日(土)美土利会総会(令和5年度)及び懇親会の終了後、新町川浮き桟橋において、参加人数33名で開催しました。本会では、先生方、学生、美土利会若手技術者が親睦や交流を深めたほか、学生たちの進路や就職活動に向けた悩みに対する助言等を行うなど有意義な会となりました。

(3)親睦事業①：観光地引き網【写真-3】

令和5年7月15日（土）北の脇海水浴場において、5年ぶりに開催いたしました。参加人数76名（子供24名）のもと、会員・ご家族・友人相互の親睦を図り、真夏の日を楽しみました。

(4)新年会【写真-4】

- ・日時 令和6年1月12日（金）
- ・場所 阿波観光ホテル（参加人数111名）
- ・来賓

徳島県知事 後藤田 正純 氏
 徳島県政策監 谷本 悦久 氏
 徳島県県土整備部長 松野 秀生 氏

(5)親睦事業②：倶楽部活動

3つの倶楽部活動を継続して行っており、令和5年度参加者人数は延べ85名でした。令和6年度も引き続き、活動継続していきます。

表-2 令和5年度 倶楽部活動一覧

	年間開催回数	参加延べ人数
ボウリング	0回	0名
ゴルフ	5回	65名
テニス	3回	20名
合計	8回	85名



写真-1 支部総会



写真-2 特別講演会



写真-3 観光地引き網



写真-4 新年会

3. 今後の活動予定（今年度～来年度支部総会）

- (1) 令和6年度 支部総会予定
令和6年6月1日（土） 徳島県建設センター
- (2) 令和6年度 観光地引き網
令和6年7月20日（土） 北の脇海水浴場
- (3) 令和6年度 「新年会」
令和7年1月10日（金） 阿波観光ホテル
- (4) 親睦3倶楽部活動
できる限り継続します。若手の参加大歓迎です。

その他、同窓会活性化に関わる事業、活動等がございましたら、ご提案いただければ幸いです。

愛媛支部

支部長 田中 清（平成元年卒）

1. 会員の動向

令和6年4月現在での会員数は161名であり、卒業年代別（短大を含む）及び職業別の会員内訳は以下のとおりです。会員の年齢構成は、40代～60代が全体の75%を占めており、20代、30代の若い世代の割合が非常に少ない状況です。

【卒業年代別の会員内訳】

卒業年 (年齢)	～S51 (70代)	S52～S61 (60代)	S62～H8 (50代)	H9～H18 (40代)	H19～H28 (30代)	H29～ (20代)	合計
会員数 (%)	20名 (12%)	47名 (29%)	36名 (23%)	35名 (22%)	20名 (12%)	2名 (2%)	161名

(注) 年齢については参考

【職業別の会員内訳】

職業別	官公庁関係	建設会社関係	設計会社関係	電力、メーカーその他	合計
会員数 (%)	64名 (40%)	27名 (17%)	21名 (13%)	49名 (30%)	161名

2. 支部総会の開催(令和5年度)

日 時：令和5年6月17日（土）18：00～

場 所：松山市「白魂」

参加者：22名

来賓：徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 中田 成智 准教授

支部役員：

名誉顧問	河野 清				
顧問	三谷 正典 (35)		信藤 仁 (49)		
支部長	田中 清 (H元)				
副支部長	中橋 成信 (51)		須賀 幸一 (52)		
幹事	黒河 洋吾 (56)		藤田 修 (56)		三好 和弘 (59)
	児山 祐樹 (60)		松田 敏 (H3)		斎藤 寛之 (H7)
					中川 博和 (H11)
監事	井田 光一 (H6)		柿原 健佑 (H19)		
事務局	仙波 慧多 (H23)		高橋 裕一郎 (H27)		

支部総会は、会員相互の親睦と母校の隆盛を図る目的で毎年開催しており、ここ数年は、美土利会総会の議事報告も兼ねて、毎年6月の第3土曜日に開催しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3年間総会が開催できておりません。昨年の6月17日（土）に実に4年ぶりとなる美土利会愛媛支部総会を開催いたしました。徳島大学からは中田准教授にご参加いただき、大学の近況や卒業生の状況についてお話ししていただき、懐かしい話に花を咲かせました。年に一度の貴重な機会であり、支部会員相互の親睦を深めております。

3. 支部での活動状況について

愛媛支部においても支部活動の活性化は喫緊の課題ではありますが、会員の居住地が県内各地に及んでいることなどから、支部全体では、総会以外の行事をなかなか開催できていない状況です。しかしなが

ら、比較的参加のしやすい地域ごとでは、会員相互の親睦を図る集まり（＝「ミニ美土利会」）を年2、3回開催しており、こうした地道な取り組みを継続し、支部全体でも魅力的な行事が開催できるよう、支部活動の活性化に努めたいと考えています。



令和5年度 愛媛支部総会（R5.6.17）

5. さいごに

昨年度に引き続き、今年度の支部総会を毎年恒例の開催場所である「白魂」にて毎年恒例の時期である6月第3土曜日である「6月15日」に開催できるよう、現在準備中です。できるだけ多くの方・新しい方に参加していただければと思います。皆さまと支部総会にてお会いできることを楽しみにしています。

高知支部

支部長 藤井 秀男（昭和63年卒）

1. 会員の動向

当支部の会員数は現在 117 名で構成されており、卒業年次、職業の内訳は下表のとおりです。会員の職業は約 4 割を官公庁が占め、続いて設計会社、建設会社となっています。

(1) 年次別会員数

卒業年次	～S39 年	S40～49 年	S50～59 年	S60～H6 年	H7～R3 年	計
会員数	4 名 (3%)	6 名 (5%)	31 名 (27%)	37 名 (32%)	39 名 (33%)	117 名

(2) 職業別会員数

職業	官公庁	建設会社	設計会社	教員	その他	計
会員数	46 名 (39%)	20 名 (17%)	16 名 (14%)	2 名 (2%)	33 名 (28%)	117 名

2. 支部役員

2024 年度 高知支部役員

顧問	島 弘 (S57)	高知工科大学
	横井 克則 (H1)	高知工業高等専門学校
相談役	岩崎 哲史 (S61)	(株)三谷組
	平田 幸成 (S54)	大旺新洋(株)
本部財務委員	藤井 秀男 (S63)	高知県
支部長本部常任幹事	藤井 秀男 (S63)	高知県
副支部長	田内 一浩 (S63)	高知県
	山下 智 (H1)	高知県
幹事	浜田 一範 (H1)	高知県
	矢田 康久 (H9)	(株)第一コンサルタンツ
会計監査	高橋 英俊 (H3)	高知県
交流・広報委員	中西 雄大 (H29)	高知県
事務局	中西 雄大 (H29)	高知県

3. 活動報告

令和 5 年度の高知支部総会は、昨年に引き続き対面形式で開催することができました。総会では、前年より 10 名多い 25 名の参加があり、大学からお招きしました地盤工学研究室の上野准教授から母校の近況をご報告していただきました。

また、総会後の懇親会では、参加者全員が 1 分程度のスピーチをすることが毎回恒例となっており、仕事や趣味、家族の近況について報告をしました。そうすることによって、初対面や久しぶりに顔を合わす者どうしでも話しのきっかけになり、お互いの親睦を深めることができました。

最後に、2024 年度も引き続き支部総会が対面で開催できることを願うとともに、例年の課題として いる 20 代、30 代の若い会員が気軽に支部活動に参加できるように、支部活動の運営を行い、会員同士の交流を図りたいと考えています。

九州支部

支部長 中尾 謙二（昭和55年卒）

美土利会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。

大学の先生方をはじめ、本部役員の皆様、並びに会員の皆様には、日頃から九州支部の活動に際し、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

1. 支部活動状況

令和5年度の九州支部の活動は、恒例となりました工業会九州支部との合同総会開催となり、令和5年11月に本部同様、4年ぶりに会員が集まりました。出席会員19名の内、美土利会会員は8名で、工業会との合同開催となってから、毎回半数前後を占めており、美土利会会員の出席が欠かせない状況となっています。

一方で、美土利会のみ活動として、新たにゼネコンの九州支店長などで赴任された会員の歓迎会を開こうとの話が持ち上がり、令和5年7月に福岡市において、九州支部の美土利会会員10名が集まって懇親を深めました。やはり土木という同じ分野で活躍している会員の集まりですから、話の盛り上がり方も合同総会とは違って、いいものだった次第です。この歓迎会をきっかけに、令和6年3月にも、九州へ赴任されたゼネコンの九州支店長を迎え、2回目の歓迎会を開催しました。この時の集合写真です。



令和6年3月6日 福岡市「キャロット」にて

このような機会を今後更に増やし、若手会員の参加を促すような活動を模索しているところです。

2. 九州地方の近況

近年の地震や大雨などの災害が全国で毎年のように報告されていますが、九州では、2016(平成28)年の熊本地震、2017(平成29)年の九州北部豪雨など、大きな災害が発生し、その後も地震や台風など毎年のように災害に見舞われています。特に熊本地震では、全国ニュースにもなった熊

本城の被災は、衝撃的であり、現在も復旧作業が続いていますが、完全に復興するのは2052年とのことです。現在天守閣などが復旧されたものの、復旧はおよそ2割ほどの進捗状況です。

その一方で明るいニュースは、阿蘇山のカルデラ内を走る南阿蘇鉄道が、2023(令和5)年7月に全線開通しました。また、倒壊した国の重要文化財である阿蘇神社の楼門の保存修理が、同年12月に完了しました。更に道路復旧や橋梁の架け替えなどが進み、土木分野での技術者の活躍を頼もしく思う今日この頃です。



・2021年3月「新阿蘇大橋」として生まれ変わり、復活！

・崩落した「阿蘇大橋」は災害遺構で残す

3. 令和6年度の活動

令和6年度も11月に工業会との合同開催の見込みです。また、新たな懇親会を含めた活動も進めて参ります。

【会員の動向】

令和6年度の会員は、山口県から沖縄県まで9県、約140名です。支部総会が開催されていた年でも、役員や定年退職された方の参加が主となり、若い人の参加がほとんどないのが悩みです。

今後も新卒者の名簿充実や呼びかけを始め、美土利会への参加を呼びかけて参ります。

【令和6年度 九州支部役員体制】

相談役	河野 文将	土木 S35	支部長	中尾 謙二	建設 S55
〃	古川 勝敏	土木 S41	副支部長	湯野 孝	土木 S56
〃	森 将彦	短土 S43	〃	平野 俊秀	建設 S57
〃	小村 日出夫	建設 S54	〃	篠原 賢至	土木 S63
			〃	小林 研一	建設 H1
			幹事	高岡 完吉	土木 S57
			〃	加藤 哲也	建設 H7